

## 平成30年度 社会福祉法人ウィング 事業報告

人材確保・定着が困難な時代にあっても、利用者の笑顔と家族や地域の皆様のご協力に支えられて、平成30年度も地域福祉の一翼を担う法人として、真摯に、前向きに、職員一丸となって事業に取り組んできました。

さて、本年度の最重要課題であったグループホームの土地確保ですが、川島町条例の制約もあり実現には至りませんでした。親御さんは待ったなしの状況です。川島町との連携を密にしながら、次年度こそはその実現を図ってまいります。

一方、働き甲斐のある職場環境づくりの一環として、キャリアパス制度の見直しに取り組み、次年度の給与制度改正につながる人事考課制度の素案が完成しました。制度に命を吹き込む作業がこれからです。

### 【法人本部】

重点目標	○社会福祉法人としての使命の追及 ○適正かつ公正な法人運営 ○積極的な情報公開・情報発信
------	--

- ・理事会・評議員会において、経営会議・本部会議で集約された意見や法人の経営状況・運営状況について、報告を行い必要事項についての決議を行ってきた。
- ・平成30年度報酬改正に伴い、事業ごとに新設された内容や変更点等、各部署と情報共有し、行政の決定に即し適正な請求処理を行った。また、改正に伴う修正事項について、随時関係機関と連携を取り、適時柔軟に対応してきた。
- ・各事業所の声や専門家の指導・アドバイスを生かし、キャリアパス制度改正の検討を重ね、職務等級基準書・人事考課シート・評価の数値化の原案が完成し、次年度試行に向け、準備が完了した。
- ・継続してホームページでの情報公開を行った。人材確保（求人・ボランティア）につながる情報発信手段の開拓については、今年度取り組むことができなかった。広報のあり方も含め、次年度取り組んでいく。
- ・本部主催の中堅職員研修を8月～11月（計4回／14名）に実施し、各事業所の中堅職員が横断的に事例を考えることで、繋がりを強化することができた。

#### （1）理事会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第1回	H30/6/18	理事6名 監事1名	H29年度事業報告・決算報告、にこにこぬくぬく送迎車両購入契約、定時評議員会開催
第2回	H30/9/20	理事6名 監事2名	きらり運営規程改正、のびっこ車両購入契約、LED更新工事契約、H30年度第1号補正予算、評議員会開催

第3回	H30/12/11	理事5名 監事1名	H30年度第2号補正予算、評議員会開催
第4回	H31/3/8	理事6名 監事2名	役員等報酬規程の全部改正、定款一部変更、経理規程一部改正、就業規則一部改正、そら運営規程一部改正、H30年度最終補正予算、H31年度事業計画・予算、所長・事務長の任命、評議員会開催

(2) 評議員会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第1回	H30/6/27	7名	H29年度事業報告・決算報告
第2回	H30/10/5	7名	H30年度第1号補正予算
第3回	H30/12/26	7名	H30年度第2号補正予算
第4回	H30/3/18	6名	役員等報酬規程の全部改正、定款一部変更、H30年度最終補正予算、H31年度事業計画・予算

(3) 監事監査

- 開催日 平成30年5月29日
- 場所 ワーク&ライクのびっこ食堂
- 内容 平成29年度事業報告及び会計監査

(4) 委員会・プロジェクト

- 研修委員会：会議14回
  - ・新任研修（年9回）・法人全体研修（年2回）
  - ・研修委員会だよりの発行（年5回）
- 福利厚生委員会：会議11回
  - ・しゃべり場実施（6月） ・新年会実施（1月） ・バーベキュー大会（雨天中止）
  - ・卓球大会実施（3月） ・サンキューカードの推進が課題である。
- スマイルフェス実行委員：会議6回
  - ・第3回 smile∞smile fes：平成30年5月13日（日）実施  
川島町健康福祉まつり・バラ祭り同時開催。来場約3,000人。雨天のため来場者減少。

**【多機能型事業所ワーク&ライクのびっこ】 生活介護・就労継続支援B型**

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事を通して一人ひとりの居場所を大切にしていく</li> <li>○一人ひとりの個性を大切にお互いを認め合っていく</li> <li>○のびっこアトリエを通して利用者の創造性を活かしていく</li> <li>○利用者のチャレンジしたい気持ちに応援していく</li> <li>○スタッフの利用者支援に対する基礎的な力を培っていく</li> <li>○日々の安全運転を心掛ける                      ○保護者とのいい連携を作っていく</li> </ul>
------	---

1. 職員体制 管理者1名・サービス管理責任者1名・事務員2名・嘱託医1名

看護師 2 名（非常勤 2 名）・生活支援員 23 名（常勤 16 名・非常勤 7 名）  
 職業指導員 1 名・目標工賃達成指導員 1 名  
 管理栄養士 1 名・調理師 3 名・清掃員 2 名・運転手 3 名

## 2. 実施状況

- ・利用者一人ひとりが仕事を通して幅を拡げ、誇りを持って取り組み、のびっこが安心した居場所となっている。全体で支え合い活動している。
- ・重度障害者支援体制をとり、個別支援計画書に加え支援手順書を整備し、支援の充実を図った。
- ・就労継続支援 B 型では、スマイルカフェ 1 / 2 の売上・工賃ともに前年度を上回る額となった。パレット班は売上低迷・仕入れ在庫の影響もあり工賃が下がった。
- ・生活介護の授産では、マハロ班が売上を伸ばした。利用者に寄り添った支援を大切にしていくことを目標とし、売上重視から利用者主体の生活の充実へと切り替えていく経過中にある。
- ・アトリエ活動を通して、ウィングフェスの展示用として、大きな布に自由に表現した。ウィング T シャツには利用者が自画像や似顔絵を描いた原案を活かした。思い思いに表現した物が形になりウィングの絆を作る製品になっている。
- ・班リーダー会議を月 1 回行い、作業班を超えての利用者支援の協力が深まっている。全体で協力していく、悩みを解決していく良い形ができていく。今後はリーダーに限らず全体で話し合いをしていく。
- ・OJT 制度を取り入れ、新人職員の受け入れを丁寧に行ってきた。今後の継続と分かりやすさが課題である。
- ・保護者との親睦で「保護者座談会」・「合同除草作業」・「ファミリー親睦会」を行った。座談会では作業班ごとに温かい話し合いができた。ファミリー親睦会では、利用者・家族・職員で楽しくバーベキュー大会ができた。
- ・年間を通して栄養バランスを考えた美味しい給食を提供し好評であった。
- ・利用者の負傷はなかったものの職員が負傷する交通事故が今年も起きてしまった。安全運転対策は引き続き課題である。
- ・職員アンケート調査結果を踏まえ、時間外勤務の軽減に向けて対策を講じた。

## 3. サービス提供実績

**契約者** 57 件（H30 年 4 月 1 日～H31 年 3 月 31 日）

生活介護：40 名…新規 1 名（他生活介護施設から）・退所 1 名（死去）

就労 B 型：17 名…退所 1 名（転居）

性別	女性	男性	計	市町村	川島	川越	北本	計
生活介護	15	25	40	生活介護	36	3	1	40
就労 B	7	10	17	就労 B	16	1	0	17
計	22	35	57	計	52	4	1	57

支援区分	1	2	3	4	5	6	未認定	計
生活介護	0	0	0	4	16	20	0	40
就労B	0	2	5	1	1	0	8	17
計	0	2	5	5	17	20	8	57

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
生活介護	0	11	19	8	2	0	40
就労B	1	4	5	3	3	1	17
計	1	15	24	11	5	1	57

### 利用者工賃

○就労支援B型	年間支給総額	4,931,517円（前年度5,102,897円）
	平均月額	26,802円（前年度25,014円）
	時給換算額	299円（前年度313円）
○生活介護	年間支給総額	4,531,900円（前年度4,727,100円）
	平均月額	18,726円（前年度19,453円）

授産売上	カフェ	パレット	ジャカッセ	エラン	マハロ	合計
h30年度	12,725,553	2,246,277	5,605,660	263,256	3,394,722	24,235,468
h29年度	12,517,427	2,999,269	6,002,312	335,635	3,018,781	24,801,424
前年度比	101.6%	74.9%	93.4%	78.4%	112.4%	97.7%

### 活動状況

#### ○就労継続支援B型

##### ・スマイルカフェ1/2

地域とのつながりを大切に、川島町と連携し、スマイルスティックやいちじくカレーを商品化した。若葉女子栄養大・浅草まるごとニッポン・アニ玉祭・川島町収穫祭など様々なイベントに出店し人とのネットワークも拡大した。スマイルスティックがKJブランドに認定され読売新聞・朝日新聞に掲載された。パン作りや、お菓子のラッピングは責任をもって利用者がほぼ全行程行っている。

##### ・パレット班（プリント事業）

お客様を大切にしたモノづくりを行ってきたことで、リピーター顧客を得ることができた。「かわべえ&かわみんトートバッグ」がKJブランドに認証された。

#### ○生活介護

##### ・マハロ班（製菓事業）

スタッフの支援体制が安定し良い形になっている。エラン班と協力し、仕事と共にリハビリも並行できるようチーム支援を行った。コミュニティサロン八幡（通称パティオ）での常設販売が始まった。

・ジャカッセ班（資源回収・公園清掃）

花屋のシール貼りの仕事を10月から新規に始めた。資源回収量拡大を目指してきたが、利用者一人ひとりに向き合う活動をしていくためにダンボール回収を3月末で終了した。

・エラン班（紙漉き・名刺制作・紙工芸）

利用者がポチ袋・メッセージカードの絵を描いた。川島町婚姻届け作成は写真の周りにハート型の花を貼る作業を取り入れ、利用者の得意な作業が増えた。医療ケアが必要な方が仲間入りし、家庭や訪問看護・リハビリテーション病院と連携しながら支援を行った。

○ランチサービス

「昼食に関するアンケート」を実施し、メンバーの嗜好・アレルギーについての情報収集を行った。安全で喜んで頂ける給食の提供をしてきた。衛生点検・細菌検査の実施。作業手順の大切さを再確認し、日々の業務で実践してきた。利用者にとって1日の大切な楽しみな時間になっている。

○年間行事

入所式（4月）、かわじま春まつり（5月）、水泳教室参加・暑気払い・夕涼み会（8月）、日帰り旅行（行先：日光／参加90名：利用者47名・スタッフ32名・ボランティア11名／10月）、餅つき会・クリスマス会（12月）、新年を祝う会（1月）、班別レクリエーション（3月）

※利用者アンケートの結果を踏まえて、次年度行事の削減を行うことになった。

○健康管理

健康診断（4月・11月）、体重測定（月1回）、保健便り（年4回）、服薬管理 他

○防災訓練・点検

消防避難訓練（6月・11月・3月）、防災総合訓練・煙体験（11月）利用者の避難もスムーズである。自主点検（5月・11月）、消防施設の点検（7月・1月）

○実習生等の受入

- ・特別支援学校生徒：2校4名
- ・特別支援学校教員体験：2校8名
- ・専門学校・大学等：6校8名

○ボランティア 182名（前年度309名）

4. サービス向上の取組

**職員研修**

○外部研修（参加者7名・延16日）

サービス管理責任者研修・労務管理者研修・給食業務担当者研修・県社協チームリーダー研修・県社協初任者研修・行動援護従事者研修・食品表示法に基づく表示作成セミナー

○内部研修

ヒヤリハット（4月）、福祉制度の動向（6月）、リフレーミング（7月）、安全運転

研修（8月）、福祉脳（10月）、PT講習（11月）、インリアルアプローチ（12月）、救命救急講習（1月）

**危機管理対策**

各報告について、朝会にて速やかに共有するとともに、班会議・スタッフ会議等で共有・対応の検討を行い、事故の未然防止や支援向上に努めた。

○ヒヤリはっと 42件（前年度55件）

利用者間の接触（39）・作業（2）・見守り確認（1）

○事故報告 9件（前年度9件）

交通事故（1）・車の接触（2）・利用者支援（6）

○苦情報告 0件（前年度0件）

H30年度 通所実績数																
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比	
生活介護	定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	—	
	契約者数	39	39	39	39	39	39	39	40	40	40	39	39.3	39	101%	
	通所日	20	21	21	21	20	18	22	22	19	19	20	242	243	100%	
	利用者延数	724	751	747	725	676	618	752	748	668	526	664	704	8,303	8,692	96%
	平均利用者/日	36.2	35.8	35.6	34.5	33.8	34.3	34.2	34.0	35.2	27.7	34.9	35.2	34.3	35.8	96%
利用率(定員比)	121%	119%	119%	115%	113%	114%	114%	113%	117%	92%	116%	117%	114%	119%	96%	
就労継続支援B型	定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	—	
	契約者数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16.8	17.4	97%
	通所日	24	24	25	25	22	25	24	25	23	23	23	26	289	289	100%
	利用者延数	269	300	291	279	251	267	288	291	245	154	230	262	3,127	3,332	94%
	平均利用者/日	11.2	12.5	11.6	11.2	11.4	10.7	12.0	11.6	10.7	6.7	10.0	10.1	10.8	11.5	94%
利用率(定員比)	112%	125%	116%	112%	114%	107%	120%	116%	107%	67%	100%	101%	108%	115%	94%	

  

H30年度 ランチサービス実績数															
ランチサービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用者食数	918	912	958	929	844	818	926	927	848	627	823	835	10,365	10,791	96%
	65%	64%	62%	64%	63%	64%	63%	65%	64%	60%	64%	65%	64%	63%	—
職員食数	479	497	548	508	475	449	525	496	460	412	456	452	5,757	6,015	96%
	34%	35%	36%	35%	36%	35%	36%	35%	34%	40%	35%	35%	35%	35%	—
ボランティア他	13	16	27	16	18	9	10	6	27	3	11	3	159	266	60%
	1%	1%	2%	1%	1%	1%	1%	0%	2%	0%	1%	0%	1%	2%	—
総計	1,410	1,425	1,533	1,453	1,337	1,276	1,461	1,429	1,335	1,042	1,290	1,290	16,281	17,072	95%

  

H30年度 送迎サービス実績数(回数)															
送迎サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比
就労B型	303	309	312	330	310	339	319	313	253	173	243	280	3,484	3,408	102%
生活介護	1073	707	712	1107	974	921	1085	1097	1006	787	1010	1067	11,546	12,567	92%
合計	1376	1016	1024	1437	1284	1260	1404	1410	1259	960	1253	1347	15,030	15,975	94%

**【かわじま町障がい児・者相談支援事業所きらり】**

**特定相談支援・障害児相談支援・生計困難者相談支援**

重点目標	○現在の相談支援を続けて行く（本人・家族の希望に沿った総合的な計画）
	○きらり Smile サロンの更なる発展（社会貢献） ○生活困窮者支援の発展
	○川島町連絡会の発展（自立支援協議会の役割を果たす会議にしていく）

1. 職員体制 管理者1名・相談支援専門員2名（管理者兼務1名） 計 2名

2. 実施状況

・本人や周りの力を中心に、きめ細やかなサービスを組み立て関係機関（医療・学校・事業所・行政など）と連携し総合的な支援が行えた。入退院の支援ケースが8名（措置

入院1名)と多かった。退院後、医療ケアの必要性・グループホーム入居・生活保護申請など、多岐にわたる支援を行った。地域課題として、川島町にグループホーム等暮らしの場の社会資源が無いことが改めて実感した年であった。

- ・新規相談が増え、7件新規契約するも受入体制がとれず10件断った。
- ・報酬制度改正に伴い、基幹センターや発障協と連携を図りながら情報収集を行い、支援の質が落ちないように、簡易的な記録様式に変更し、事務作業の省力化を図った。
- ・きらりサロンでは、自立に向けて余暇活動や仲間づくり、生活スキルの向上を狙い、買い物・メイク・フライングディスク参加など、本人主体で企画・実行する支援を行った。また、就労A型事業所見学を実施。新たな働く場を見て、目標になった参加者がいた。精神障害者の参加や引きこもりの支援につながる動きは進んでいない。
- ・生活困窮者支援については、2件依頼あったが体制上の理由で1件は他施設が対応した。また、計画相談担当ケースが生活困窮となり、安心セーフティネットにつながり生活をつないだ。これまでの生活困窮支援の経験を支援に生かすことができた。
- ・きらり主催による町内関係機関との事例検討会を初めて開催した。困難ケースを通じ情報交換、課題共有することができた。今後も継続開催を期待する声が多かった。
- ・より良い相談環境の場として10月にワーク&ライクのびっこからライフサポートそらへ事務所を移転した。移転に伴い軽自動車を購入した。

### 3. サービス提供実績

- ・利用契約……145件（新規7件・終了11件）
- ・計画作成……延92件 ・モニタリング……延343件 ・認定調査……延40件

性別	児童	成人	計
女	13	42	55
男	18	72	90
計	31	114	145

主な障害	児童	成人	計
知的	26	82	108
身体	2	11	13
精神	3	21	24
難病	0	0	0
計	31	114	145

援護市町村	児童	成人	計
川島町	31	103	134
川越市	0	5	5
北本市	0	2	2
桶川市	0	1	1
さいたま市	0	1	1
越谷市	0	1	1
江東区	0	1	1
計	31	114	145

月別実績		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年	前年比
児童	契約数	31	31	30	30	30	30	30	30	28	28	28	28	31	32	97%
	計画	3	1	0	29	0	0	0	0	0	0	0	1	34	34	100%
	モニタリング	6	7	0	3	3	3	3	3	29	3	3	3	66	73	90%
成人	契約数	107	104	103	105	105	105	105	105	105	106	106	106	114	110	103%
	計画	4	9	1	15	4	4	11	2	2	2	3	1	58	88	66%
	モニタリング	16	25	7	51	16	23	14	15	54	14	15	27	277	234	118%
全体	契約数	138	135	133	135	135	135	135	135	133	134	134	134	145	142	102%
	計画	7	10	1	44	4	4	11	2	2	2	3	2	92	122	75%
	モニタリング	22	32	7	54	19	26	17	18	83	17	18	30	343	307	112%
認定調査		1	1	5	6	1	8	2	6	3	1	0	6	40	26	153%

#### 4. サービス向上のための取り組み

- 研修・会議 強度行動障害支援者養成研修 医療・保健・福祉連携研修  
比企地域自立支援協議会（障害者就労連絡会 4回・事業所連絡会 2回）  
川島町保健センター情報交換会（毎月）  
川島町内関係機関事例検討会（きらり主催・2月）
- ヒヤリはっと 0件（前年度0件）
- 事故報告 0件（前年度0件）
- 苦情報告 2件（前年度1件）…個人情報の取り扱い・訪問時の駐車場

### 【ライフサポートそら】

#### 居宅介護等・移動支援・訪問介護等・生活サポート・るんるんクラブ

重点目標	○サービス（支援）の質の向上	○ニーズに応えられる体制づくり
	○業務の統一化と標準化	○安全運転意識向上
	○地域とのつながり	

#### 1. 職員体制

管理者 1名・サービス提供責任者 2名（管理者兼務 1名）  
ヘルパー 7名・登録型ヘルパー 18名 計 27名（うち常勤 7名）

#### 2. 実施状況

- ・サービス内容向上のためにヘルパー定例会を中心に内容の検討や共有を図った。特に行動援護の支援については、会議を新設して取り組んだ。他事業所との連携が必要なケースについては、さらに関係を深め協同で対応した。
- ・さらに利用を増やしたい、行動援護の新規希望などのニーズに応えるために、正職員を1月から増員した。
- ・業務の統一化・標準化を図るため一部マニュアルを作成してきた。定着・改善が引き

続き必要である。

- ・安全運転講習に警察署から講師を招いたり、安全に関する資料を読み合わせたりして意識向上に努めたが、細かい接触（壁に擦る等）があった。ドライブレコーダーの活用も含めて引き続き安全対策に取り組む。
- ・ボランティア係を新設し、ボランティアを受け入れて対応した（るんるんクラブ）。
- ・中山地区のスクールガード事業（車両にステッカーを貼り付け）の見守り活動参加

### 3. サービス提供実績

事業別	契約者（h 30. 4. 1～h 31. 3. 31）	利用実績／年間
障害（居宅介護等）	38名	8529.5時間
介護（訪問・予防）	5名	523.5時間
移動支援	64名	3570時間
生活サポート	122名	3052時間
るんるん	36名	延参加467名

行動援護・重度訪問介護・居宅介護・同行援護／月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
援護	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	230	20.8	111%
訪問	495.5	523.0	501.5	480.0	545.0	487.5	473.0	471.0	530.0	442.5	438.0	517.5	5,904.5	5839.0	101%
訪重	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	100%
居宅	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	138	12.8	108%
同行	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20	20	100%
護行	25.0	25.5	31.0	25.5	28.5	29.0	29.0	25.5	24.5	29.0	28.5	26.5	327.5	333.5	98%
合計	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	37	37	37.8	34.6	109%
利用時間	707.5	749.5	728.0	702.0	771.5	695.0	701.0	689.0	754.0	650.0	644.0	738.0	8529.5	8031.0	106%

訪問介護・予防訪問介護／月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
訪問	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	3	1.7	0.8	208%
訪問	11.50	28.75	28.75	16.00	17.50	14.00	14.00	17.50	14.00	20.00	20.00	24.50	226.50	43.50	521%
訪予	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2.8	3.1	89%
訪問	27.00	27.00	26.75	28.75	24.25	24.50	27.75	28.00	25.00	19.00	19.00	20.00	297.00	278.5	107%
合計	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4.4	3.9	113%
利用時間	38.50	55.75	55.50	44.75	41.75	38.50	41.75	45.50	39.00	39.00	39.00	44.50	523.50	322.00	163%

移動支援・月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
身介	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	30	30	30.8	31.5	98%
体護	103.5	119.5	106.5	112.5	118.5	103.5	102.5	107.0	116.0	93.5	122.0	117.5	1322.5	1595.0	83%
身介	32	32	32	33	33	33	33	32	32	32	32	32	32.4	32	101%
体護	193.0	167.0	203.0	189.5	179.0	203.0	187.5	225.0	179.5	174.5	185.5	161.0	2247.5	2210	102%
合計	63	63	63	64	64	64	64	64	63	63	62	62	63.3	63.5	100%
利用時間	296.5	286.5	309.5	302.0	297.5	306.5	290.0	332.0	295.5	268.0	307.5	278.5	3570.0	3805.0	94%

生活サポート・月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用	119	119	119	119	119	121	121	122	122	122	121	122	120.5	108.9	111%
実績	67	65	66	63	65	72	68	72	67	61	59	64	65.8	63.8	103%
利用時間	254.0	252.0	250.5	275.5	276.5	251.5	270.0	262.5	263.5	212.0	217.5	266.5	3052.0	3210.0	95%

#### るんるんクラブ

- 登録者数 36名（川島町内 34名、川島町外 2名）
- 発表の場 よさこい&ダンス舞台発表…ウイングフェス（5月）・川島町生涯学習フェスティバル（11月）・平成の森老人保健施設（3月）
- ・フラダンス…のびこ夕涼み会（8月）
- ・フラワーアレンジ（キッズ含む）…川島町中央文化展展示（11月）

プログラム	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	回
よさこい	12	23	11	13	12	11	13	10	11	10	11	6	143	13
フラダンス	—	11	11	11	9	—	—	—	—	—	—	—	42	4
フラワーアレンジ	13	—	—	—	—	—	12	—	13	—	—	—	38	3
音楽	—	—	—	—	—	11	—	11	—	—	—	—	21	2
調理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	8	16	2
フラバー	14	15	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	3
工作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	—	10	1
卓球	—	—	—	14	13	11	—	—	—	—	—	—	38	3
キックベースボール	—	—	—	—	—	—	12	13	—	—	—	—	25	2
ドッチボール	—	—	—	—	—	—	—	—	13	休	—	—	13	1
ドッジボール	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	13	27	2
キッズ	4	3	5	3	5	4	6	4	6	4	3	4	51	12
合計	43	52	41	41	39	37	43	38	43	22	38	31	467	48

#### グループ外出

実施日	内容	行先	参加数
4月（14・15日）	お花見に行こう	新宿御苑	13名
5月（5・6日）	おしゃれな街に行こう	みなとみらい・馬車道	14名
6月（2・3日）	動物を見に行こう	東京競馬場	15名
7月（7・8日）	水族館に行こう	品川アクアパーク	11名
8月（4・5日）	水辺に行こう	浅草水上バス	15名
9月（1・2日）	秋の味覚を楽しもう	長瀬	14名
10月（6・7日）	お祭りを見に行こう	東京よさこい・カラオケ	11名
11月（10・11日）	学園祭に行こう	聖路加国際大学・築地	13名
12月（1・2日）	冬のイベントを楽しもう	ご当地鍋フェスティバル	16名
1月（5・6日）	初詣に行こう	東京タワー・増上寺	13名
2月（2・3日）	博物館に行こう	東京博物館	16名
3月（2・3日）	テーマパークに行こう	としまえん	13名
年間総数：実施回数／24回 延参加人数／164名 ヘルパー確保できず断った数／6名			

#### 4. サービス向上の取り組み

##### 職員研修

○外部研修（参加者5名・延10日）

話し方・折衝・交渉力向上研修、ドライブレコーダー活用事故防止、同行援護従事者養成、福祉有償運送運転者、相談支援従事者初任者

○内部研修

安全運転ポイント（毎月）・事例検討（6回）・個人情報取り扱い（4月）・ひやりは

つと・事故報告・緊急時対応（6月）・安全運転講習（8月）・虐待防止（2月）・感染症対策（12月）

#### 危機管理対策

○ヒヤリはっと 34件（前年度13件）

転倒のおそれ・手荷物忘れのおそれ・突発行動など

○事故報告 12件（前年度8件）

車両擦り・派遣遅刻忘れ・手荷物忘れなど

○苦情報告 3件（前年度1件）

連絡対応の不備

\* 苦情には至っていないが不手際と思われる事項：5件（前年度13件）

内容：連絡ミス・説明不足・対応不手際など

○保健衛生管理

職員健康診断（5月）・感染予防対策・インフルエンザ予防接種の補助奨励 他

○車両運行管理

日常点検・法令点検・車検の実施・車両内外清掃・配車 他

その他 そら通信・るるん通信の発行（各12回/年）

### 【グループホームにじ】 共同生活援助

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"><li>○生活の場面における利用者ごとのニーズや思いにしっかりと向き合う。</li><li>○本人・家族・各関係機関と連携して日々の生活を支えると同時に、利用者の将来にわたる生活をも一緒に考えていく。</li><li>○常に人権意識を持った支援をおこなう。</li><li>○き地域の中のグループホームとして、地域交流を大切にする。</li></ul>
----------	--

#### 1. 職員体制

管理者兼サービス管理責任者1名・世話人兼生活支援員1名

世話人3名・生活支援員（夜間）4名・生活支援員（休日）2名

計11名（うち常勤2名）

#### 2. 実施状況

- ・入居者のうち、5名はオープン当初からのご利用、1名は前年度の3月からの入居であった。当初からの入居者はそれぞれの生活リズム・スタイルは確立されている。個人ごとの異なる生活スタイル、生活リズムを大切にしたい。
- ・入居者に関わる関係機関との連携を大切にしてきた。
- ・保護者への連絡（様子・体調等）・金銭管理・通院対応など個別状況に合わせた対応を行ってきた。
- ・日々の小さな馴れ合いが大きな人権侵害につながるという点を意識して、人権擁護について日頃より職員の意識啓発を行ってきた。また、ホーム運営の特性上、複数の職員が支援に関わるという形になるため、支援の対応にずれが生じ入居者が混乱しない

ように、会議や業務日誌等による引き継ぎの充実に努めてきた。

- ・今年度も、下八ツ林地区の皆様より、地区美化運動（年3回）や種まき運動（下八ツ林活動組織・年3回）に声を掛けて頂き、入居者も楽しく参加した。また、回覧板も出来る限り入居者と一緒に回すようにして、地域の皆様と交流を図ってきた。その他、職員が防犯パトロールや新年会等の懇親会にも出来る限り参加した。

### 3. サービス提供実績

**契約者** 6件/定員6名 (H31年3月31日現在)

女性3名・男性3名 川島町6名

区分	5	6	計	年齢	30代	40代	50代	60以上	計
人数	3	3	6	人数	2	2	2	0	6

月別実績	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用延数	180	186	180	186	186	180	186	186	172	169	168	186	2165
日平均利用	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.5	5.5	6.0	6.0	5.9
利用率(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	92	91	100	100	98.6

※12～1月：1名入院

### 4. サービス向上のための取組

#### **職員研修**

- 外部研修（参加者1名・延1日） 障害者の健康づくり研修（7月）
- 内部研修 権利擁護虐待防止研修（6月・2月）・感染症研修（12月）

#### **危機管理対策**

- ヒヤリはっと 14件（前年度10件）
  - 利用者間の接触（4）・ホームからの飛び出し（3）・転倒（4）・薬の飲み忘れ（2）・IHコンロの取り扱い（1）
- 事故報告 5件（前年度1件）
  - 薬の飲み間違い（2）・転倒（1）・怪我（1）・暴力（1）
- 苦情報告 0件（前年度0件）

## 【にこにこ】 児童発達支援・放課後等デイサービス

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出発点は、個々の児童・保護者の想いである。それぞれの児童に即した個別支援計画を立て、それを基にした一瞬一瞬の支援の積み重ねを大切にする。</li> <li>○毎日のプログラムを日々精査し、支援全体の質を上げていく。</li> <li>○重症心身障害児や行動援護対象児等について、重度化に即した受け入れ態勢の構築、支援の充実により一層の力を入れる。</li> <li>○職員がプロとしてのスキルを向上させると共に、チームワークを充実させる。</li> <li>○地域福祉力向上の一環として、ボランティアの受け入れ・育成に力を入れる。</li> </ul>
----------	--

### 1. 職員体制

管理者 1 名・児童発達支援管理責任者 1 名・事務員 1 名・保育士 4 名  
 児童指導員 2 名・指導員 2 名 計 11 名 (うち常勤 8 名)

### 2. 実施状況

- ・年間平均利用率は 91% であり、昨年度と同水準であった。既存の利用者に加えて、今年度から利用をスタートした児童も定着してきた。また「児童発達支援」については、9 月より新規利用者の受け入れがスタートした。
- ・秋から冬場に掛けて利用率が伸び悩んだ。特に体調不良によるキャンセルの要因が大きい。月によってキャンセル数にばらつきがあった。キャンセルが発生した場合の他の方への声掛けなどを行いニーズに応じてきた。
- ・看護師の採用ができず、医療ケア児を受け入れることはできなかった。
- ・利用曜日の変更など契約者のニーズ変更には柔軟に対応した。
- ・当日の利用人数、児童の特性などを考慮しつつ活動プログラムの立て方等を日々工夫し、毎日が充実した活動になるように努めてきた。年齢層や障害の幅が広く、出来る限り多様な関わりを図れるように努めている。
- ・10 月より送迎車両を 1 台増車した。他事業所からの借用は無くなり、より柔軟に配車できるようになった。送迎範囲が多方面に亘っており、効率的な送迎体制を組むとともに、安全運転の徹底に努めた。
- ・担当者会議への参加など、各関係機関との連携を密にし、支援や対応の統一に努めた。
- ・1 月に保護者交流会「ワークショップ」を開催した。

### 3. サービス提供実績

**契約者** 35 件 (H30 年 4 月 1 日～H31 年 3 月 31 日) / 定員 10 名

性別	女児	男児	計
放課後等デイサービス	13	20	33
児童発達支援	1	1	2
計	14	21	35

市町村	川島	川越	吉見	東松山	上尾	桶川	北本	計
放課後等デイ	13	10	3	1	3	2	1	33

児童発達支援	2	0	0	0	0	0	0	2
計	15	10	3	1	2	2	1	35

学校・学年別	児童発達	放課後等デイ対象				計
	未就学	小低学年	小高学年	中学	高等	
川越特別支援		1	2	3	4	10
ひばりが丘特別支援		4	0	5	9	18
上記以外	2	2	1	1	1	7
計	2	7	3	9	14	35

月別実績	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
開所日	25	27	26	26	24	25	27	26	24	24	24	26	304
利用延数	252	261	255	237	217	218	229	202	228	215	212	241	2767
日平均利用	10.0	9.6	9.8	9.1	9.0	8.9	8.4	7.7	9.5	8.9	8.8	9.2	9.1
利用率(%)	100	96	98	91	90	89	84	77	95	89	88	92	91

#### 4. サービス向上のための取組

##### 職員研修

##### ○外部研修（参加者6名・延15日）

中堅職員キャリアパス研修・発達障害に関する研修・社会福祉援助技術基礎研修  
障害児通所支援事業所職員研修・アンガーマネジメント研修・虐待防止権利擁護修  
アレルギーに関する研修・メンタルヘルス推進者研修

##### ○内部研修

虐待防止権利擁護（6月）・接触嚙下に関する研修（7月）・個人情報保護（9月）・  
感染症研修（11月）・安全運転、車椅子操作（1月）

##### 危機管理対策

##### ○ヒヤリはっと 20件（前年度13件）

送迎関係（6）・利用児の暴言暴力（2）・他者との接触（1）・他傷（2）・転倒等  
（5）・誤嚥のおそれ（1）・やけどのおそれ（2）・外出（1）

##### ○事故報告 14件（前年度11件）

他傷（1）・転倒（3）・転落（1）・怪我（1）・暴力（1）・備品破損（2）・車  
両接触（1）・送迎間違い（2）・送迎忘れ（2）

##### ○苦情報告 0件（前年度0件）

##### その他

「放課後等デイサービスガイドライン」及び「児童発達支援ガイドライン」に基づく  
自己評価を実施し、その結果については法人ホームページに公開した。

## ぬくぬく（短期入所）

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事・入浴・睡眠等、利用者のニーズを踏まえた上で、年齢や障害に応じたその場面に応じた適切な支援、丁寧な支援を積み重ねる。</li> <li>○緊急時利用については、優先的に調整して全て受け入れる。</li> <li>○職員が人権に対する意識を体に染み込ませる。</li> </ul>
----------	---

### 1. 職員体制（にこにこ兼務）

管理者1名・事務員1名・生活支援員7名

計9名（うち常勤7名）

### 2. 実施状況

- ・月によって曜日の並びや祝日・休日等の絡みで、空きが生じる日もあり、既存利用者の利用日の変更、追加の依頼、新規利用者の契約など、柔軟に対応してきた。平日の急遽のキャンセルの場合に追加分を探すことが難しい場合があった。
- ・緊急時の受け入れ対応に関して、今年度は2件（いずれも親戚のご不幸による保護者の葬儀等への列席）であり、昨年度の15件に比べると減少した。2件ともに他利用者の方に快く譲って頂いた。
- ・利用ニーズは多様であり、個々のニーズに合わせた支援を行っている。
- ・定期的利用の方を中心に、利用を希望されている全てのニーズに応えることを目標にして、職員配置・利用者の様子を踏まえながら、毎月調整をしている。特に緊急ではないが、定期利用以外の日に利用を希望されるケースについては、事情をお聞きしながら、出来る限り対応するようにしている。
- ・夜間支援及び深夜帯は1人体制ということもあり、特に虐待防止・権利擁護については、研修への参加や日頃の啓発などで意識向上を図ってきた。
- ・10月より清掃員を配置し、支援員の業務の負担軽減を図った。

### 3. サービス提供実績

**契約者** 女性26名・男性43名 計69人／定員4名

居住地	川島	川越	吉見	上尾	桶川	東松山	北本	坂戸	鶴ヶ島	計	
	4	2	8	6	4	3	2	2	1	1	69

支援区分	1	2	3	4	5	6	児1	児2	児3	計
	0	0	4	7	15	28	2	1	12	69

月別実績	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	28	31	362
利用延数	211	229	223	217	218	216	218	222	234	187	212	239	2626
日平均利用	7.0	7.3	7.4	7.0	7.0	7.2	7.0	7.4	7.5	6.7	7.5	7.7	7.2
利用率(%)	89	92	93	88	88	90	88	92	94	83	95	96	90

#### 4. サービス向上のための取組

**職員研修** \*にここに参照

**危機管理対策**

薬に関する件は、大事には至っていないものの、服薬前に職員2人で声を掛けあい確認をするなど、改めての対策を徹底した。

○ヒヤリはっと 10件（前年度8件）

薬に関すること（1）・転倒等（3）・物の落下（1）・他傷のおそれ（1）・利用者による事業所の携帯使用（1）・外出（1）・自傷（1）・誤飲（1）

○事故報告 10件（前年度11件）

怪我（1）・転倒（2）・自傷他傷（1）服薬忘れ（1）・服薬間違い（2）・備品破損（2）・送迎遅れ（1）

○苦情報告 0件（前年度0件）

以上